

公益社団法人日本青年会議所 2010年代運動指針

2010/12/11 第12回理事会 承認

2011/01/22 第135回総会 採択

己を律し、行動する J A Y C E E

「自立」と「共助」が調和し、
「生き抜く力」と「生かされていることへの感謝」が漲る社会へ

概要解説PPT(簡易版)

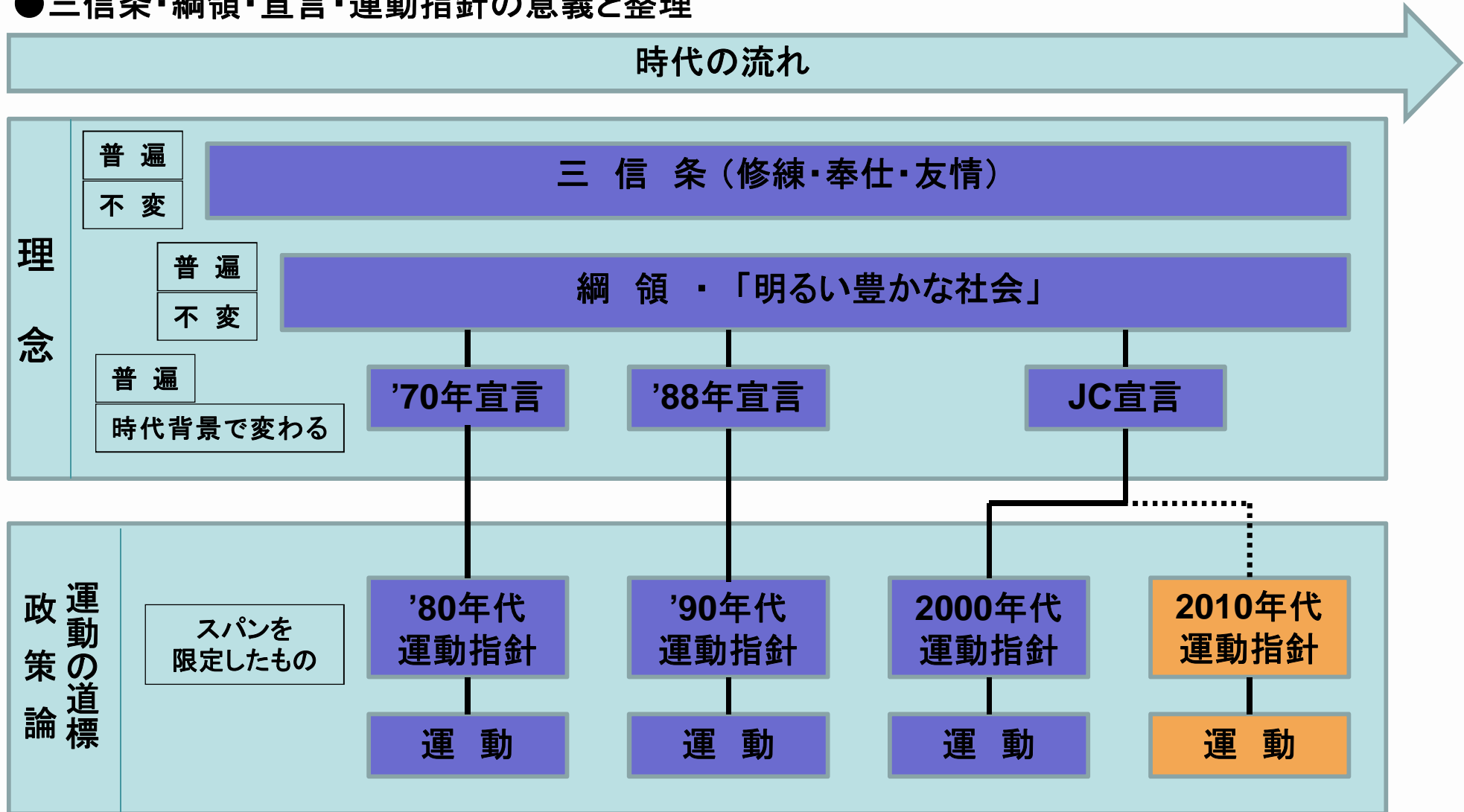
2010年度公益社団法人日本青年会議所

「世界に輝く日本」創造グループ

「世界に輝く日本」創造会議

「運動指針」とは ～意義～

●三信条・綱領・宣言・運動指針の意義と整理



2010年代運動指針の要旨① ～時代背景～

2010年代という「時代」

- ◆ 国家としての大きな「転換」=人口減少社会へ
- ◆ 公的部門(国・地方)の債務超過

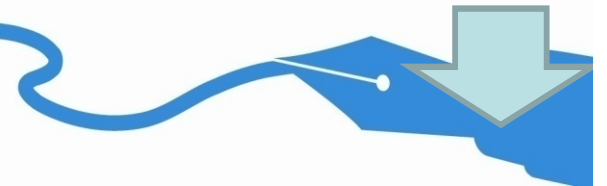


行政サービスの持続可能性の危機！

<喫緊の課題>

- ・セーフティ・ネット(年金・医療・介護等)再構築
- ・疲弊した地域経済の活性

「選択と集中」による公的部門の健全化と、
新たな行政のカタチの模索、ひいては地域主権型社会への転換へ



2010年代運動指針の要旨② ~「自立」と「共助」~

「自立」とは・・・

国家における主権者として積極的に民主主義のプロセスに参画し、経済活動や環境の整備等を通じて社会的役割を果たすこと、つまり「**公共の担い手**」としてあること

「共助」とは・・・

様々なコミュニケーションを通じて互いが存在を認め合い、刺激し合い、競い合い、励まし合い、助け合い、共にたくましく「生き抜く」こと

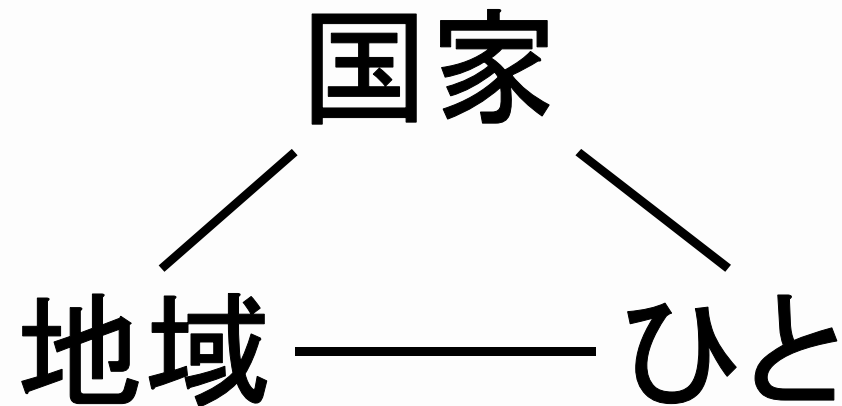
「自立」を前提としながらも
「共助」の精神を大切にする社会



2010年代運動指針の要旨③ ～政策ビジョン～

政策ビジョン

理念・運動指針をベースとしたJC運動・事業のカタチ



ひとのかたち … 「純粋な正義感」溢れるひとづくり

まちのかたち … コミュニティと経済の振興。「全体最適化」を目指したまちづくり

くにのかたち … 「自立」した国家の創造と、世界に貢献するくにづくり

全国各地のJC運動・事業のベースとして活用



2010年代運動指針の要旨④ ～己を律する～

「己を律する」こと

- ・こどもたちへの教育をする前に、自分はきちんとした大人でしょうか？
- ・環境運動をする前に、自らは環境へ配慮していますか？ ……などなど。

まずは自分を見つめ直すことから始まる

己を律することで、私たちのコトバに「リアリティと説得力」が生まれ、市民の心に響く「言霊」となり、効果的な真の運動へと進化する。

そして私たちに求められているのは「行動」である

今を生きる若者として、青臭く、泥臭く、「行動」しよう！
それこそが真のJAYCEEとしての生き方



未来は私たちの手の中に。

世界110カ国を超える国々に存在するJC。

その中でも「稀有な存在」としてある我らが日本の青年会議所。

人々に、地域に、そして国家のために、これからも力強く、青年らしく、行動しましょう。

他が為に、人が強い心で行動するとき

自分の持つ一番のちからが発揮できる

他が為に、人々の心を一つにし、ちから漲る社会を創造しよう

今の世が、それをきれい事とする社会であるならば

我々は、その尊さを伝えることから始めよう

私たち青年こそが、日本の未来を創る

その思いは「明るい豊かな社会」へ繋がるはずだから

(2010年代運動指針<骨子編>より)

己を律し、行動する J A Y C E E

「自立」と「共助」が調和し、

「生き抜く力」と「生かされていることへの感謝」が漲る社会へ

